

第2章 高齢者の社会参加の推進 **地域ビジョンI**

第1節 高齢者のクラブ活動活性化の促進 **地域ビジョンI**

老人クラブ（愛称「いきいきクラブ」）は、高齢者の友愛訪問、ボランティア活動、伝承活動、世代間交流、環境美化、健康増進、介護予防事業等、地域で幅広い活動を展開しており、高齢者の生きがいがづくりや介護予防につながっている。

クラブの新設（平成30（2018）年度2件）及び各クラブによる勧誘の取組により、一旦令和元（2019）年度に会員数の増加が見られたが、近年はクラブ数・会員数ともに減少傾向にある。

今後も会員増につなげるため、老人クラブの活動等についてチラシを配布する等、広報・周知に努めることとする。

【評価指標】 地区別老人クラブ数及び会員数

（各年度当初）

		基準年度 (令和2年度)	令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度
大田原地区	クラブ数	33 クラブ	34 クラブ	34 クラブ	35 クラブ
	会員数	1,418 人	1,430 人	1,450 人	1,470 人
湯津上地区	クラブ数	3 クラブ	3 クラブ	3 クラブ	3 クラブ
	会員数	53 人	55 人	60 人	65 人
黒羽地区	クラブ数	17 クラブ	18 クラブ	18 クラブ	18 クラブ
	会員数	507 人	520 人	530 人	540 人
合計	クラブ数	53 クラブ	55 クラブ	55 クラブ	56 クラブ
	会員数	1,978 人	2,005 人	2,040 人	2,075 人

1. 老人クラブ活動の推進

(1) 高齢者のクラブの拡充

現在の老人クラブは、概ね自治会を単位とした居住地域だけの高齢者で組織されている状況にあり、自治会を超えた広範囲の組織化、相互交流ができていく状況にある。

老人クラブ活動の多様化を図るため、従来の概ね自治会を単位とした地縁的な組織ばかりでなく、価値観を共有する高齢者が「地域を越えて横断的な組織活動」ができるよう支援する。

(2) サークル活動の促進

老人クラブのサークル活動について、シルバーコース等のサークル活動は単位クラブの枠を超えて、充実した活動を展開しており、今後、こうした多様なサークル活動を通じて、学ぶ楽しさを促進する。

また、従来の老人クラブ会員のニーズと新規加入者となる団塊の世代に属する前期高齢者のニーズは、価値観等の相違からおのずと異なってくることから、単位クラブ間又は他の会員との相互交流を推奨し、柔軟な組織づくりを支援する。



【老人クラブの活動の様子】

第2節 生涯学習・生涯スポーツの推進 **地域ビジョンI**

1. 社会参加と学ぶ楽しさの推進

自らの経験や知識を活かし、積極的に社会参加活動をする意欲を持つ高齢者に対し、生涯学習関連事業との連携も図りながら高齢者学級や趣味のグループ活動、シルバー大学校等を紹介、高齢者の生きがいづくりや介護予防を推進する。

(1) 地区公民館主催の高齢者学級への促進

高齢者の生涯学習関連事業として、地区公民館主催の高齢者学級等と連携を図り、様々な生涯学習関連事業や自主的な趣味のグループへの参加を積極的に促進する。

(2) 栃木県シルバー大学校の入校の促進

栃木県シルバー大学校は、高齢者の健やかで生きがいのある人生を支援するとともに、地域活動実践者の養成を目指している。市では、広報紙を通じて同校への入校を積極的に推進している。

また、シルバー大学生及び同校のOB会大田原支部との連携を強化し、地域活動等で指導的な役割を発揮できるよう、ボランティア情報を収集し、提供に努める。

【評価指標】 栃木県シルバー大学校の入学状況

シルバー大学校の 入学者数	基準年度 (令和元年度)	令和3(2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和5(2023) 年度
	24人	25人	25人	25人

2. 健康・スポーツ活動の実践

高齢者が自らの健康や体力に応じて安心して親しめるスポーツや、生涯にわたって継続的に実践できるスポーツの振興を図るため、各種のスポーツ大会や普及のための講習会等を市老人クラブ連合会及び市体育協会等と連携を図りながら推進するとともに、高齢者スポーツの多様化を図るため、高齢者向け新スポーツの普及と定着を促進する。

(1) 高齢者スポーツ・レクリエーション活動の推進

各種の高齢者スポーツ大会への参加促進、自主スポーツサークル化への促進を図り、高齢者の交流、体力の維持、健康の増進を目的としたスポーツ活動を推進する。特に老人クラブを中心にニュースポーツの普及を図る。

また、介護予防の視点からも、高齢者ほほえみセンター等において、レクリエーションや筋力アップトレーニング等を実践する。

【大田原市老人クラブ連合会が推奨するスポーツ競技】

①ゲートボール競技	②輪投げ競技
③グラウンドゴルフ競技	④ペタンク競技
⑤各地区単位の高齢者スポーツ大会等	

このほか、文化・スポーツ等を通して世代間交流や生きがい、健康づくりに寄与する全国健康福祉祭（ねんりんピック）への参加を支援する。

(2) 高齢者スポーツ環境の整備

高齢者スポーツの環境整備を図るため、各地区にゲートボール場、グラウンドゴルフ場を整備してきたが、都市公園担当部局や生涯スポーツ担当部局との連携により、引き続き必要に応じた高齢者スポーツ施設の整備を検討する。

3. 世代間交流と地域振興

本格的な高齢社会を豊かで潤いのある社会としていくためには、全ての世代が互いに認め合い支え合いながら様々な課題を分かち合っていくことが必要であるが、核家族化の進行や生活様式の変化等により、家庭や地域において若い世代と高齢者が身近に接し、相互理解を深めたり知識や経験を伝え合う機会が減少している。若い世代の高齢者に対する慈恵の心を養うとともに、高齢者も社会の重要な構成員として生きがいや役割を持てるよう、多世代にわたる交流事業を積極的に推進する。

具体的には、公民館事業やスクールアシストプラン、コミュニティスクール事業等、他分野との連携によって、地域共生社会に向けた地域における世代間交流を図ることとする。

第3節 高齢者の就業促進 **地域ビジョンI**

1. 就労的活動の推進

地域における高齢者の社会参加と生活を支えるための経済活動として、高齢者の就労的活動の推進を図る必要がある。就労的活動の支援については、就労的活動の場を提供できる企業や団体等と就労的活動を希望する高齢者をマッチングし、高齢者の社会参加を促進する就労的活動支援コーディネーターの役割が重要となる。就労的活動支援コーディネーターとしては、地域産業に精通している者や中間支援を行う団体等が想定されるが、シルバー人材センターの活用や生活支援体制整備事業協議体が把握している地域資源等から適任者を選出するなどして、地域の実情に合った配置を検討することとする。

2. シルバー人材センター

高齢社会が急速に進展する中で、健康で働く意欲と能力を持った高齢者の就労の促進を図ることは、高齢者の生きがいづくりの施策の重要な柱であるため、公益社団法人大田原市シルバー人材センターの充実・強化を積極的に支援し、センターの機能を活用し、地域の高齢者の就労的活動の推進を図る。

【評価指標】 高齢者の就業促進

	基準年度 (令和2年度)	令和5(2023) 年度
ニーズ調査問5(1) ⑧収入のある仕事 への参加状況で 年に数回以上参加 している方の割合	26.4%	28%



【シルバー人材センター会員の活動の様子】

第4節 敬老関係事業 **地域ビジョンI**

長寿を祝福し、敬老の意を表する敬老関係事業については、高齢化の進展に伴い対象者数は年々増加し、本市の財政負担も毎年増加の一途をたどっている。敬老関係事業は、地域の伝統的な慣習を踏襲して実施している。今後も財政状況を鑑み、事業内容等を検討しながら事業を実施していく。

1. 敬老祝金・記念品支給事業

毎年9月に本市に住所を有する者に対して、敬老祝金及び記念品を支給する。

【評価指標】敬老祝金・記念品支給事業

対象者への 支給割合	基準年度 (令和元年度)	令和3(2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和5(2023) 年度
	100%	100%	100%	100%

2. 敬老会

自治会又は自治公民館及び老人ホーム等が主催する敬老会に対し、敬老者1人当たり2,000円の補助金を交付している。（※令和元年度までは、敬老者1人当たり3,000円）

対象年齢：令和3（2021）年度は76歳以上
令和4（2022）年度は77歳以上
令和5（2023）年度は78歳以上
令和6（2024）年度は79歳以上
令和7（2025）年度以降は80歳以上の者

【評価指標】敬老会補助金交付事業

敬老会補助金 交付率	基準年度 (令和元年度)	令和3(2021) 年度	令和4(2022) 年度	令和5(2023) 年度
	100%	100%	100%	100%